

# 中高連携に係る行事の紹介 (2学期分)

神石高原町連携型中高一貫教育ジャーナル

# 高原の風

第8号  
2013.12.13

☆油木高校卒業生凱旋公演☆



シャンソン歌手 多賀 健祐 さん



講師 野球解説者 大野 豊 さん

中高一貫教育講演会  
演題『全力投球』〜夢に向かって〜



伝統ある油木高校野球部



★体験型オープンスクールに  
多くの参加がありました♪

夏のオープンスクール開催  
〈油木高校産業ビジネス科〉



中学生のための高校英語入門講座



先進校（島根県立飯南高校）視察研修



2013 夏の甲子園 広島大会



神石高原町連携型中高一貫教育推進協議会

帝釈峠の紅葉



～ 地域の教育力を生かしながら、生徒一人一人の能力や可能性を伸ばし、  
確かな学力の定着をめざすと共に、ふるさとを愛する心や未来を拓く人材を育成する。～

連携のテーマ **共創の教育で、町の未来を拓く生徒の育成**

「共創の教育」とは  
学校・家庭・地域が共に子どもの教育に関心を寄せ、支援していく営み。

◆ 油木高が豪学校と姉妹校提携を ～ 国際的視野を持つ人材育成に ～



提携校は、オーストラリア・クイーンズランド州バンダバーグ市の私立学校「バンダバーグクリスチャンカレッジ」で、1996年にキリスト教会の支援のもとに設立され、生徒数約800名、幼稚園から高校まで併せもつ学校で、同カレッジは牧場も有しており、共に農業を学ぶ共通点もあることから、油木高校吉岡正晴校長先生が8月同カレッジを訪問され、マーク・ベンスレー校長と提携書に調印されました。



◆ 今年も東北被災地のイチゴ農家へ復興のミツバチ支援を



産業ビジネス科生9名が宮本紀子教諭と共に10月17～18日、東日本大震災で被災した宮城県亘理・山元町のイチゴ農家に、今年6月から校内で飼育した授粉用ミツバチ約1.2万匹（段ボール製の巣箱15個）を贈りました。

◆ 平戸木公太さん(陸上部3年)がインターハイ・日本Jrユースの400mHで共に準優勝を獲得



平戸木さんにQ: 準優勝しての感想を教えてください。  
A 8位入賞する自信をもって臨みましたが、準優勝できて嬉しかったし、ほっとした自分がいましたが、少し時間が経つと優勝したかった……気持ちが出てきました。  
堀川監督にQ: 大会を終えての感想を教えてください。  
A 練習環境は決して恵まれていませんが、それを言い訳にせず、よく本人は頑張ったと思います。その成果を全国という大舞台で自己新を出しての準優勝はほめてあげたいです。又、沢山の応援に心より感謝申し上げます。

◆ こんな大会に出場・応募し、大奮闘・大活躍しました！



がんばれ！がんばれ！油木高校！

暑い！熱い！  
応援団

全国高校野球広島県大会で加計芸北分校と延長13回、接戦の末、2対4で惜敗しましたが最後まで粘り強く頑張りました。

◆ 農業クラブ発表大会で今年も産ビ生大活躍、全国大会に2部門が出場、両部門で見事 優秀賞を獲得！



桑山修一さん・川上貴志さん

広島県学校農業クラブ発表大会

プロジェクト発表「食料・生産」3年 桑山修一 他 最優秀賞  
" 「環境」 3年 小川淳央 他 最優秀賞  
" 「文化・生活」3年 赤木幸徳 他 最優秀賞  
意見発表「食料・生産」1年 長田真樹 優秀賞  
" 「環境」 3年 安友達哉 最優秀賞  
" 「文化・生活」2年 濱村京子 最優秀賞



桑山修一さん・内藤哲也さん

8月21日 広島市での「農業高校・農業技術大学校合同フォーラム」で「未来を發明する産業ビジネス科の実践」を発表しました。

第64回日本学校農業クラブ全国大会



プロジェクト発表  
<出場者:3年>  
赤木 幸徳さん  
國岡 雅弘さん  
大橋 聖子さん  
松井 咲樹さん



意見発表  
<出場者:2年>  
濱村 京子さん  
「ミツバチが結んだ東北イチゴ農家支援」

第2回エコワングランプリ  
昨年引き続き中四国代表に決定  
ナマズ養殖の研究を発表し  
12月14日に最終審査

高校生のエコ活動の推進や交流を目的とした「第2回エコワングランプリ」の中四国ブロック2次審査会が10月29日に開催され、油木高校は「研究・専門部門」でブロック代表に選ばれた。発表内容は、耕作放棄地を池に変えてナマズを養殖し、ナマズの食品を地域の特産品とする活動を紹介。最終審査は12月14日に行われる。



桑山修一さん・安友達哉さん